

たまの版生涯活躍のまち

「これまでの取り組みの振り返り」
「第2期基本計画の策定に向けて」

新たな玉野市総合計画での位置づけ（重点プロジェクト）

- 『たまの版生涯活躍のまち（CCRsea）』は、事業推進主体がコーディネーターとして中心的な役割を担いながら、玉野市や関係者と連携・調整しながら官民連携で推進。
- 平成31年4月に策定した新たな玉野市総合計画で、『たまの版生涯活躍のまち』を玉野市が特に注力する重点プロジェクトとして位置付け、市も一層強力で推進。

新たな玉野市総合計画における記載（玉野市総合計画より抜粋）

第2章第4節

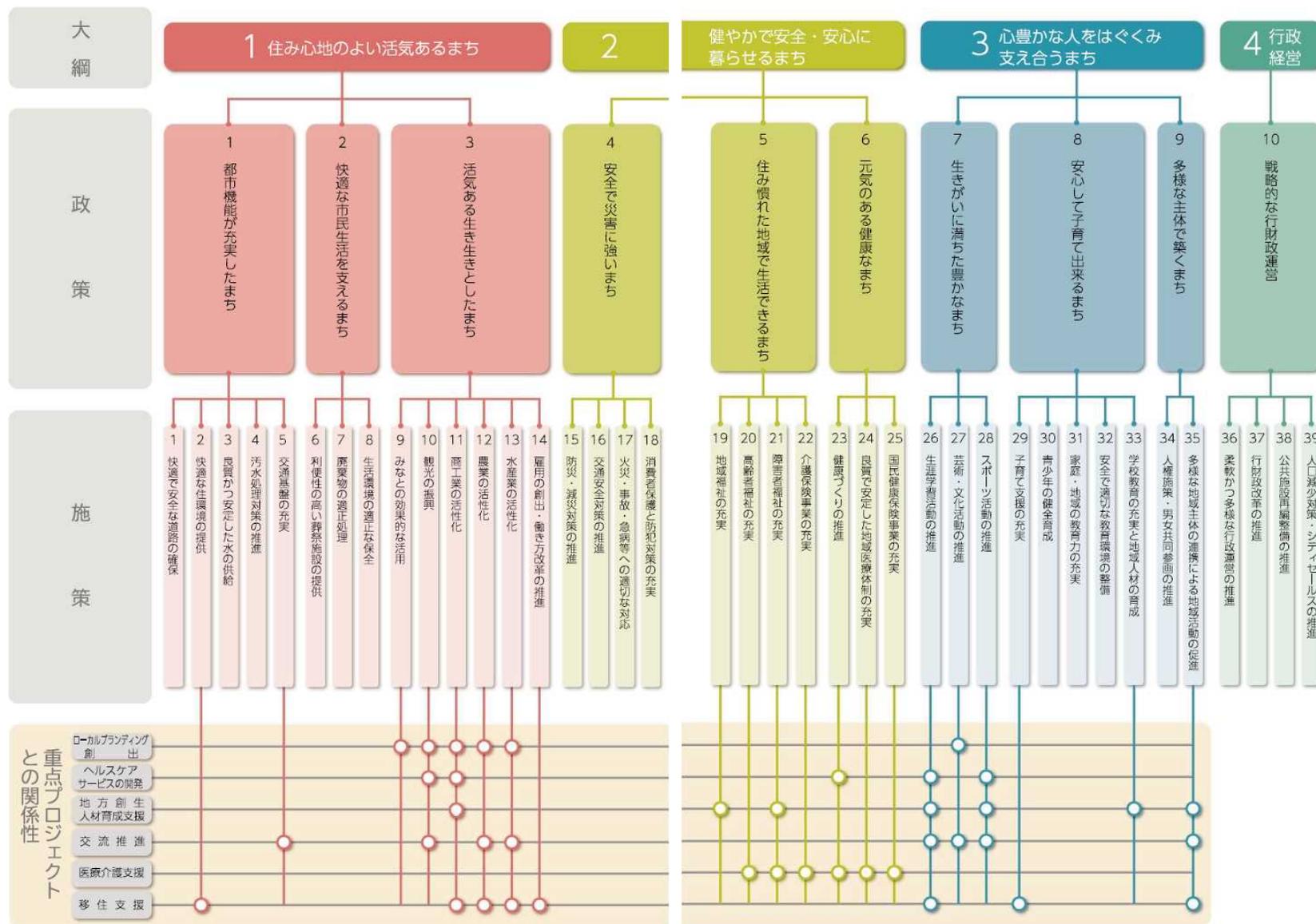
■重点プロジェクトの位置付け

本計画において、特に注力する本市の特色を生かした独自の施策展開（分野横断的な取組）については、まちづくりの特色や方向性を市民と共有し、官民一体となった取組を推進することを目的に、重点プロジェクトとして位置付けます。

重点プロジェクトは、2017（平成29）年3月に策定した「たまの版CCRsea基本構想」及び2018（平成30）年3月に策定した「たまの版生涯活躍のまち基本計画」に掲げた、たまの版生涯活躍のまち（CCRsea）の取組とします。

新たな玉野市総合計画での位置づけ（重点プロジェクト）

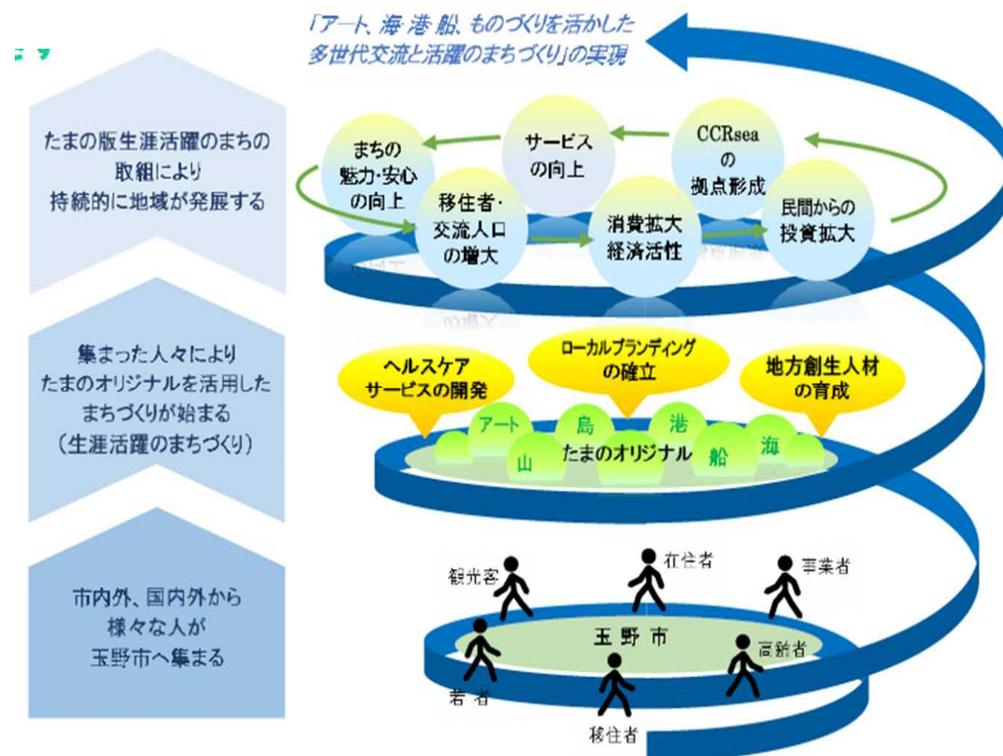
政策・施策体系図



1. これまでの取り組みの振り返り (玉野市・民間団体)

たまの版生涯活躍のまちの将来像

- たまの版生涯活躍のまちが目指すのは、高齢者や移住者に加え、学び、働く若者や地域住民、事業者等が活躍することで、持続的な発展を続けていくまちの形成。
- 生涯活躍のまちの拠点形成が進み、まちに新たな魅力が加わり、さらに多くの人が集まり、消費の拡大、民間投資の誘発等、好循環が形成されることを期待。



たまの版CCRsea構想が目指す将来像（好循環の形成）

各取り組みの実績①

●たまのオリジナルを活用した産業促進

| 事業名 | 担当課 | 実績 | | | | |
|--------------------------------|-------|---------------------|------|------|------|-----|
| | | 指標名 | H29 | H30 | R1 | R2 |
| 創業アシスト奨励金事業 (若者雇用創出型創業応援事業) | 商工観光課 | 奨励金交付件数 | 4件 | 7件 | 7件 | 3件 |
| 特産品協議会運営補助事業 | 商工観光課 | お宝たまの印 認定件数 | 10件 | 12件 | 21件 | 5件 |
| 中山間地域所得向上支援対策事業 | 商工観光課 | 新規特産品の 開発件数 | － | 9件 | 25件 | 0件 |
| 宇野港魅力発信事業 | 商工観光課 | フォトコンテスト審 査対象作品数 | 617点 | 412点 | 437点 | 未実施 |
| 観光おもてなし推進事業 | 商工観光課 | 外国語ボランティア 従事延べ人数 | － | 400人 | 383人 | 未実施 |
| みなとオアシス運営補助事業 | 商工観光課 | 旅客船寄港回数 | 18回 | 18回 | 22回 | 0回 |

R2の実績は10月末まで

各取り組みの実績②

●健康増進・医療・介護支援・地域共生社会の実現

| 事業名 | 担当課 | 実績 | | | | |
|-------------|-------|----------|---------|---------|---------|-------------------------------|
| | | 指標名 | H29 | H30 | R1 | R2 |
| 健康マイレージ事業 | 健康増進課 | 応募件数 | 489件 | 1,171件 | 1,092件 | 実施中 (応募期間 R3.3.1ま で) |
| 深山ウォーク | 健康増進課 | 参加者数 | 143人 | 165人 | 174人 | 未実施 |
| 食育推進イベント | 健康増進課 | 参加者数 | 230人 | 430人 | 520人 | 展示のみ 実施 |
| いきいき百歳体操 | 長寿介護課 | 会場数 | 112会場 | 114会場 | 115会場 | 116会場 |
| 障害者スポーツ推進事業 | 社会教育課 | 開催回数 | | 7回 | 8回 | 4回 |
| | | 参加人数 | | 275人 | 382人 | 100人 |
| 公共交通運営事業 | 総務課 | シーバス利用者数 | 69,020人 | 68,878人 | 70,662人 | 36,164人 |
| | | シータク利用者数 | 50,797人 | 54,011人 | 42,265人 | 18,459人 |

R2の実績は10月末まで

各取り組みの実績③

●地方創生人材育成

| 事業名 | 担当課 | 実績 | | | | |
|--------------------------|-------|---------------|--------|--------|--------|------|
| | | 指標名 | H29 | H30 | R1 | R2 |
| 地元就職促進事業 (マリン玉野産業フェア) | 商工観光課 | 参加生徒数 | 205人 | 139人 | 160人 | 未実施 |
| | | 参加企業数 | 18 | 18 | 19 | |
| 玉野市立高等学校 インターンシップ事業 | 商工観光課 | 参加生徒数 | 125人 | 155人 | 136人 | 未実施 |
| | | 参加企業数 | 50 | 48 | 65 | |
| スチューデントガイド推進事業 | 社会教育課 | プログラム 実施回数 | － | 14回 | 22回 | 1回 |
| 講座開催事業 | 社会教育課 | 講座数 | 13講座 | 17講座 | 17講座 | 10講座 |
| | | 延べ参加人数 | 2,277人 | 2,373人 | 2,637人 | 526人 |
| 地域人づくり大学事業 | 社会教育課 | 延べ受講人数 | 642人 | 462人 | 665人 | 61人 |
| 中学校キャリア教育推進事業 | 学校教育課 | 参加者数 | 465人 | 408人 | 423人 | 372人 |

R2の実績は10月末まで

各取り組みの実績④

●移住支援・拠点整備

| 事業名 | 担当課 | 実績 | | | | |
|------------|-------|-----------------|-------|--------|--------|------|
| | | 指標名/事業費 | H29 | H30 | R1 | R2 |
| 定住推進事業 | 総合政策課 | 移住支援 | 9組20人 | 14組20人 | 10組12人 | 0組0人 |
| | | お試し滞在助成金 | 11件 | 11件 | 3件 | 1件 |
| 空き家対策事業 | 都市計画課 | 空き家改修事業 補助件数 | 5件 | 6件 | 2件 | 7件 |
| 事業推進主体補助事業 | 総合政策課 | 資料5のとおり | | | | |

R2の実績は10月末まで

全体の実績

- KPI①は「東京一極集中」の是正に関するものであるが、H27(基準値)より悪化しており、令和元年度で297人の転出超過となっており、目標達成は困難。
- KPI②とKPI③については、一定の成果はみられるものの、最終目標の達成はやや困難な状況となっている。

KPI①の目標達成が困難な要因としては、基準年度と比較して、日本全体として「東京一極集中」がより深刻化していることが大きな要因と考えられる。

- 「第1期たまの版生涯活躍のまち基本計画」のKPI（重要業績評価指標）

| | | H27 (基準値) | H28 | H29 | H30 | R01 | R02 | R02 (最終目標) |
|------|------------------------------|--------------|------|------|------|------|-----|---------------|
| KPI① | 若者の転出超過数（毎年） | 263人 | 289人 | 393人 | 321人 | 297人 | | 153人 |
| KPI② | たまの版生涯活躍のまちの取組による移住者数（累積） | 0人 | 17人 | 37人 | 57人 | 69人 | | 100人 |
| KPI③ | たまの版生涯活躍のまちの取組による若者の雇用者数（累積） | 0人 | 4人 | 6人 | 9人 | 14人 | | 30人 |

2. 第2期基本計画の策定に向けて

全体の枠組み（案）

第1章 たまの版生涯活躍のまち基本計画について

- 基本計画の位置づけ
→上位計画である玉野市総合計画、たまの創生総合戦略との関係の整理
- 基本計画の計画期間

第2章 玉野市の現状・課題

- 各種統計データ
→第1期計画に掲げる人口・産業、健康・医療等のデータをアップデート

第3章 たまの版生涯活躍のまち基本構想

- 将来像
- 基本方針

第4章 たまの版生涯活躍のまちの取り組み

- 主な取り組み

第3章 たまの版生涯活躍のまち基本構想（案）

将来像

たまの版生涯活躍のまちでは、高齢者、障害者、移住者、学び・働く若者等、全ての玉野市民や企業・事業者が活躍することで、持続的な発展を続けていくまちの形成を目指します。

基本方針

（1）観光振興による交流人口の増加と移住推進

（ローカルブランディング創出機能 × 移住支援機能）

- ◆ 地域資源を活用した観光振興を戦略的に推進することで交流人口を増加
- ◆ 利用者ニーズに応じた効果的な情報発信、きめ細やかな移住支援により移住者を増加

（2）健康に暮らせるまちづくりの推進

（ヘルスケアサービス開発機能 × 医療介護支援機能）

- ◆ 社会参加の継続による高齢者の介護予防、健康増進
- ◆ 現役世代も含めた効果的な健康増進

（3）地方創生人材育成と交流推進

（地方創生人材育成支援機能 × 交流推進機能）

- ◆ 若者の地域交流の機会、雇用機会の創出
- ◆ 障害者や高齢者の社会参加の機会の創出

たまの未来会議

- 本市の重要施策を検討・推進するにあたり、次世代を担う若者・女性の自由な発想や意見を積極的に取り入れるため市内企業、各種団体等から推薦された若者を構成員とする会議を開催。
- 本年度は、“第2期たまの版生涯活躍のまち基本計画”のうち、『①観光振興による交流人口の増加と移住推進』、『②健康に暮らせるまちづくりの推進』の2つのテーマについて、各2回（計4回）の会議で検討。

会議の開催日時

- ① 8月27日（木）
 - ② 9月16日（水）
 - ③ 10月7日（水）
 - ④ 10月29日（木）
- 毎回18時～20時



第4章 たまの版生涯活躍のまちの取り組み（案）

（1）観光振興による交流人口の増加と移住推進

たまの未来会議からの意見・提案

- 観光振興の目標は、「玉野に来てもらうこと（観光入込客数の増加）」ではなく、「玉野に来てお金を使ってもらうこと（観光消費額の増加）」にすべき。
- 人口減少による地域経済の縮小を、観光客による新たな消費で補い、地域の持続的な発展につなげていくことが重要。
- 観光客の行動パターンを意識した一体的で面的な情報発信が必要。

第2期計画での主な取組（案）

- 地域資源を生かした特産品の開発支援
- 飲食・宿泊業等の観光事業者の新規創業支援
- 誘客のための情報発信プロジェクト
- DMO（観光地域づくり法人）の形成
- きめ細やかな移住支援

第4章 たまの版生涯活躍のまちの取り組み（案）

(2) 健康に暮らせるまちづくりの推進

たまの未来会議からの意見・提案【働き世代の健康づくりの推進】

- 市や民間団体からの健康情報は、若い人にはあまり届いていない。電子媒体での情報発信も必要ではないか。
- ただ健康メニューが開発されても、食事そのものの魅力（美味しい、リーズナブル等）がないと食べようと思わない。
- 個人の自助努力だけで健康になるのは困難。働き世代の健康づくりは、職場単位・企業連携の取り組みや意識せずとも健康になれる環境づくりが必要ではないか。

第2期計画での主な取組（案）

- 高齢者の社会参加（就労、いきがいつくり等）の機会の提供
- 関係団体（愛育委員協議会・栄養改善協議会）と連携した健康づくりの推進
- 健康診査、がん検診の受診率の向上
- 健康増進イベントの開催
- 健康マイレージ事業などのインセンティブのある健康事業の実施
- 働き世代の健康づくりの検討

第4章 たまの版生涯活躍のまちの取り組み（案）

（3）地方創生人材育成と交流推進

第2期計画での主な取組（案）

- [再掲] 高齢者の社会参加（就労、いきがづくり等）の機会の提供
- 市民協働のコミュニティ活動の推進
- 利便性の高いコミュニティ交通の運営
- 障害者就労、障害者スポーツの推進
- 多様な選択肢のある講座の開催
- 若者が地元産業・企業を知ることができる機会の提供
- 若者が地域と関わる機会の提供